

令和7年度第3回 旭川市雪対策審議会 会議録

- 1 開催日時 令和7年10月28日(火) 18:30~19:15
- 2 開催場所 旭川市総合庁舎7階大会議室C(旭川市7条通9丁目)
- 3 出席者 **【委員】** 14名
石塚委員、大野委員、帯川委員、葛西委員、片岡委員、木下委員、藏敷委員、小谷委員、小林委員、柴田委員、高倉委員、田中委員、中込委員、和田委員
【事務局】 7名
高橋雪対策担当部長、石持雪対策課長、田中土木事業所長、今井土木事業所主幹、(雪対策課)伊藤補佐、高垣補佐、村形補佐
- 4 欠席者 **【委員】** 1名
中田委員
- 5 傍聴者等 傍聴者0名
- 6 議題 (1) 除排雪に関する市民アンケートの結果について
(2) 令和7年度の雪対策の取組について
(3) 旭川市雪対策基本計画アクションプログラムの改定について
- 7 資料 次第
資料1 令和7年度 除排雪に関する市民アンケートの結果
資料2 令和7年度の雪対策の取組
資料3 旭川市雪対策基本計画アクションプログラム第3回改定案
資料3-1 アクションプログラム第3回改定素案への委員意見
資料3-2 アクションプログラム第3回改定案修正箇所
- 8 会議録(要点) 別紙のとおり

会議録（要点）

1 事務局から報告

本日の出席委員数が過半数を超えており本審議会が成立していること、会議は公開かつ傍聴できることとしており傍聴者の定員5名に対し本日の傍聴者はいないことを事務局から報告。

2 開会

ただいまより、令和7年度第3回旭川市雪対策審議会を開催します。

3 議題（1）

会長の進行のもと、資料1に基づき除排雪に関する市民アンケートの結果について事務局から説明があった。議事進行は次のとおり。

【会長】

事務局から、昨年度の雪の状況を踏まえた市民アンケート調査の結果について報告がありました。皆さん御意見、御質問はありますか。

【委員】

昨年度よりも令和7年度の調査結果が評価が上がっているのは、どのような理由と考えているのでしょうか。

【事務局】

昨年度は1月と2月は気温が高く雪も少なかったこと、またその前の令和5年度は12月に大雪が降り、その影響で全市的にザクザク路面が発生しその印象が強く残っていたことが、今回のアンケート結果に現れたものと考えています。

【委員】

市民アンケートの回答数について、昨年度の4,199件から減っており、除排雪の状況が良かったので特段意見を出さなくても良いかと考えた一定数いると思います。雪が多くて大変だというようなイメージがある年はアンケートの回答者数も跳ね上がるといった相関関係のようなものはあるのでしょうか。

【事務局】

アンケートの継続的な実施は令和4年度からで、令和4年度は約2,100件、令和5年度が2,000件ほど、令和6年度が約4,200件で雪の量に比例するようなイメージにも見えますが、まだ4か年分しかないので、データを蓄積していかなければ傾向は分からないものと考えます。

【委員】

アンケートの質問で、前の質問でなぜその回答としたのか理由を聞く項目を入れると良いと思います。アンケートは毎年同じ項目を聞くことで傾向の変化を読み取ることもできるという考え方もありますが、回答した理由を聞くことで、新たに実施した取組についての評価や効果を確認することもできると思います。

【事務局】

今後の検討課題とします。

4 議題（2）

会長の進行のもと、資料2に基づき令和7年度の雪対策の取組について事務局から説明があった。議事進行は次のとおり。

【会長】

事務局から今年度の雪対策の取組として、除雪センターを4つに試行的に集約すること、路面管理対策として初冬期に気象状況に応じて生活道路の圧雪を削る作業を実施すること、まちなかの道道の一部を市が除排雪することなど、いくつか新たな取組も含めて説明がありました。皆さん御意見、御質問はありますか。

【委員】

初冬期に生活道路の圧雪を削るとの話がありましたが、排雪の日程は変わらないのでしょうか。

【事務局】

例年1月から排雪作業を始め、1月31日までに1回目、引き続き2回目を3月10日を目途に完了することにしており、今年度も同様のスケジュールで実施する考えです。

【委員】

気象アプリを導入とありましたが、専門家が使うものなのでしょうか、それとも一般市民でも見られるのでしょうか。

【事務局】

気象アプリの使用は、市の除雪を担当する職員と除雪センターで同じ予報を共有し、出動判断や気象状況への対応を統一したいとの考えから導入するものです。一般に公開されているサービスのため、市民に公開することは考えていません。

【委員】

除雪の見える化の説明のところでSNSを活用して情報発信するとの説明がありましたが、気象アプリを活用することで、市民に伝えるべき情報は伝える考えで良いでしょうか。

【事務局】

気象アプリから得られた情報で、大雪に注意など市民に知らせるべき情報があれば発信する予定です。

【委員】

広報活動は昨年度と同じように実施するのでしょうか。

【事務局】

今年度は、市民アンケートの結果も参考に媒体を絞り、テレビCMやSNS広告、特設サイトは実施しますが、昨年度実施した街頭放送やラジオCMは放送を取り止めました。その分、昨年度は1月から放映していたテレビCMの期間を12月から放映できるよう準備を進めています。昨年度とは違うキャラクターで考えていますので、楽しみにしてください。

【委員】

除雪オペレータの動画を配信とありますが、これはオペレータの確保を目指したのでしょうか。それとも、このように除排雪作業をしていますと市民に見せるためのものなのでしょうか。

【事務局】

動画は3種類あります。1つめは除排雪の仕組みや基準などをお知らせするもので、市民向けでもありますし、新人オペレータ向けでもあります。2つめはオペレータ密着動画のようなもので、オペレータの仕事を知らせてもらいたいイメージ。3つめは新人など若いオペレータに「ここは押さえて」という技術的なところを交えたものとなっており、全般的に言えばオペレータの確保と育成両方を目的とした動画となっています。

【委員】

オペレータの確保・育成について、目指すのは若い方なのですが、定年後にまだ仕事できるのでオペレータをやってみたいというような方は対象となるのでしょうか。

【事務局】

除雪企業に勤めている方を対象に、運転免許取得費用の半額を上限に助成しています。若い方だけでなく、

50歳くらいで新たに免許を取得する方もいます。年齢に関係なく助成することでオペレータの確保を図っています。

【委員】

テレビCMについて、昨年度は2社で放映したと思います。今年はどのように予定しているのでしょうか。

【事務局】

1つは昨年度と同様に道北ローカルの放送エリアがあるSTVで、もう1つは全道エリアで昨年度とは違う放送局で放映の予定です。

【委員】

昨年度は12月に雪が多く降り、1月以降雪が溶けてザクザクになり、何とかしてほしいという苦情が一番多くありました。今年からザクザク路面对策として、圧雪を少し削り、暖気が来たときもザクザクにならないようにするのは良い取組だと思います。ただ、市民アンケートでも回答がありましたが、私たちの市民委員会でパトロールをしても、交差点の見通しが悪いという意見が多くあります。これまで住民には、削った雪はどこかに置かなければならないし、1月31日までに1回目の排雪が終わるので、もう少し我慢してくださいと話しています。削ることで雪を堆積する期間が長くなるなら、住民にきちんと説明してほしいですね。

5 議題（3）

会長の進行のもと、資料3、資料3-1、資料3-2に基づき旭川市雪対策基本計画アクションプログラムの改定について事務局から説明があった。議事進行は次のとおり。

【会長】

まず、委員の皆さんには、アクションプログラム第3回改定素案に御意見御質問を出していただきありがとうございました。改定素案から改定案を作成するに当たって、資料3-1にある委員からの修正意見に加え、資料3-2の市内部の意見を合わせ3箇所修正を行ったとの説明が事務局からありました。修正部分を踏まえ、改定案の内容について意見・質問はありますか。

（委員から質問・意見なし）

【会長】

本日示されたアクションプログラムについては、委員の意見や質問が確認・反映されたものとなっており、当審議会としては、このとおり改定し、進めてもらいたいと思います。皆さんご協力ありがとうございました。

6 その他

事務局から説明事項はなし。

事務局より次回開催に係る連絡事項として、来年1月中旬から下旬の日中に開催し、内容は除雪センターや雪堆積場等、除雪作業の現場を視察しながら、シーズン中の雪対策の進捗状況の説明を予定していること、調査票により日程調整し、開催日を決定することの報告があった。

7 閉会

【会長】

以上で令和7年度第3回雪対策審議会を閉会します。